

[共同研究：書誌的研究法の考察と展開]

## 大正期作家の読書遍歴に関する書誌的研究

### (その3) ——荷風の読書遍歴書誌 3——

志 保 田 務\*  
赤 瀬 雅 子\*\*

#### 師と祖父への傾斜の時代

今般は大正11年12月初めから昭和2年12月末までを扱う。

この期、荷風は小説といえるものを殆ど書いていない。こうした小説生産の中だるみとは対照的に随筆、評論的な作品を多く執筆、発表している。これは本稿・読書書誌に見られるような旺盛な読書ぶりと符合しているように思われる。即ち、いわば入力面に力が注がれ、その蓄積の余滴、後の出力のオプションとしてエッセイ類が多産されたのであろう。

好んで読んだものは森鷗外の歴史小説であり、鷲津毅堂等の漢詩である。この二者が主たる読書対象であることは、そのままに、二つの黙示であると考ええる。

第一は、荷風が内心において新しい師の門をくぐりりなおしたという実証である。世に出るに際して荷風は広津柳浪に師事する形をとった。しかしフランスに留学するころには既に心は柳浪をはなれ、鷗外を真の師と仰いでいた。そうしたことの一端をこの読書メニューは物語るであろう。

第二は、荷風の作品の骨法の根元を透写していることである。荷風の作風がアンリ・ド・レニエを初めとするフランス文学の影響の上に築かれていることは言うまでもない。しかし、その文学的営為の源泉は母方の祖父・鷲津毅堂、父・永井久一郎（禾原）から受けついで文人としての血であり、漢詩の素養である。

創作の行き詰まりの中で荷風がいわゆる本家帰りを志し、自己を再確認・再構築しようとした姿を、この読書誌の上に見て取ることが出来ないであろうか。

なお小説発表の貧困であったこの時期の性質上、当方の筆による注をつけることが少なかった点をおことわりしておく。

#### 凡 例

(略記。詳細は VoL. 12 No.3 所載)

#### I 典拠

『荷風全集』第1巻(1962年)～第28巻(1965年)、補巻・第29巻(1974年)岩波書店。

#### II 記載事項

##### 1. 読書関係事項

- .1 年月日：原則としてその対象作品名を挙名している荷風の著作の初出の年月日。ただし脱稿の日付が付されそれが発表のそれよりも2年以上先立つものである場合は、脱稿の年月日を記載した。尚脱稿と発表の年月日に相当の間隔がある場合は、それぞれ注で「稿」,

\* 本学社会学部教授

\*\* 本学経済学部教授

「発表」の日付を補った。

.2 読書作品：荷風による記載の形に従って著者・作品名の順に示す。

2. 典拠関係事項

.1 巻・頁：当該読書作品を所載する荷風の著作のタイトル。編集タイトルの場合を含む。

3. 注：注は稿末にまとめた。荷風の文中からの抽出物には「“ ”」（引用符）を用いた。

荷風の読書遍歴書誌 (3)

(大正)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
11. 12. 不	森鷗外「はげあたまそめちがへ」	15：150	麻布襦記：隠居のごごと
11. 12. 不	吉田兼好「徒然草」	19：258	断腸亭日記巻之六
12. 1. 16	温知叢書	19：263	断腸亭日記巻之七
12. 1. 1	ヂット, アンドレの作「ワルテルの詩」	19：261	〃
12. 1. 19	フローベル, ギュスターヴの語録 <sup>1)</sup>	19：263	〃
12. 1. 3	モルチエー, アルフレット「Dram aturgei de Paris」	19：261	〃
12. 2. 20	児嶋博士「支那文学考第二巻韻文考」	19：266	〃
12. 2. 14	森鷗外「鷗外先生全集第四巻」	19：265	〃
12. 2. 1	仏蘭西作曲家モリス・ラヴェルの評伝	19：264	〃
12. 2. 17	レニエー, アンリ・ドの小説「ペーシュ レス」	19：265	〃
12. 3. 不	浅野梅堂「寒紫瓊瑗」	15：157	麻布襦記：隠居のごごと
12. 3. 不	一立斎広重(漫画)	15：155	〃 : 〃
12. 3. 不	王穉登(の絶句)	15：152	〃 : 〃
12. 3. 不	元遺山(の絶句)	15：154	〃 : 〃
12. 3. 不	成島柳北(紀行随筆の類)	15：156	〃 : 〃
12. 3. 不	吉田兼好「つれづれ草」	15：153	〃 : 〃
12. 3. 27	クロオデル, ポール「東亜紀行」	19：269	断腸亭日記巻之七
12. 3. 19	レニエー, アンリ・ドの小説「La Double Maitresse」 <sup>2)</sup>	19：268	〃
12. 4. 不	岩野泡鳴「断橋」	27：509	合評：二つの新作品
12. 4. 不	小山内薫「緑の朝」「息子」 <sup>3)</sup>	27：510～29	〃
12. 4. 17	幸田露伴「潮待草」	19：270	断腸亭日記巻之七
12. 4. 18	幸田露伴「譚言長語」 <sup>4)</sup>	29：58	書簡
12. 4. 22	幸田露伴 〃	19：271	断腸亭日記巻之七
12. 4. 不	三世相大雑書 <sup>5)</sup>	15：163	麻布襦記：隠居のごごと
12. 4. 28	ファゲエ, エミル「読書論」	19：271	断腸亭日記巻之七
12. 4. 不	フランス, アナトール「随想録」	15：163	麻布襦記：隠居のごごと
12. 4. 4	Duhamel, Georges 著「Paul Claudel の評伝」 <sup>6)</sup>	19：269	断腸亭日記巻之七
12. 5. 27	海保漁村「漁村文話」	19：277	〃
12. 5. 3	樋口一葉『一葉全集』の中「たけくら	19：273	〃

(大正)	読書作品(著者・著作名)	巻:頁	荷風全集目次タイトル
	べ)「濁江」の二篇		
12. 5. 26	百花園 <sup>7)</sup>	19:276	断腸亭日記巻之七
12. 5. 17	森鷗外「濶江抽斎伝」	19:274	〃
12. 5. 12	〃 『鷗外全集』第七巻所載「西周伝」「能久親王事蹟」	19:274	〃
12. 5. 15	エストニエーの小説「L'Appel de la Route」	19:274	〃
12. 5. 6	ミュッセ「世紀の児の告白」 <sup>8)</sup>	19:273	〃
12. 5. 25	シャルル, ルイ・フィリップの翻訳小説集	19:276	〃
12. 6. 不	貝原益軒「家道訓」	15:171	麻布襦記:隠居のごごと
12. 6. 20	二葉亭四迷「平凡」	19:280	断腸亭日記巻之七
12. 6. 25	〃 「浮雲」「其面影」	19:281	〃
12. 6. 29	鷲津毅堂「毅堂集」	19:281	〃
12. 6. 10	シャトオブリアン「拔萃集」	19:279	〃
12. 7. 不	池田大伍「月佳夏夜話」 <sup>9)</sup>	27:532	合評:月佳夏夜話
12. 7. 30	太田元貞「梧窩漫筆」 <sup>10)</sup>	19:284	断腸亭日記巻之七
12. 7. 1	室直清「駿台雑話」	19:281	〃
12. 7. 不	「室町御所」	27:543	合評:月佳夏夜話
12. 7. 10	森鷗外「伊沢蘭軒伝」	19:282	断腸亭日記巻之七
12. 8. 30	猪飼敬所「読礼肆考」	19:287	〃
12. 8. 14	大沼沈山「詩鈔」	19:286	〃
12. 8. 24	〃 「竹溪詩集」	19:287	〃
12. 8. 30	小原鉄心の遺藁	19:287	〃
12. 8. 不	海保漁村「漁村文話」	15:199~200	麻布襦記:隠居のごごと
12. 8. 9	菊地五山「五山堂詩話」	19:285	断腸亭日記巻之七
12. 8. 不	孔子「春秋」	25:234	書簡集
12. 8. 25	細井平洲撰, 細井徳昌編「嬰鳴館遺藁」	19:287	断腸亭日記巻之七
12. 8. 不	森鷗外「鷗外全集」 <sup>11)</sup>	15:185	麻布襦記:隠居のごごと
12. 8. 不	〃 「 〃 」史伝部第7巻 能久親王事蹟	15:186~9	〃 : 〃
12. 8. 不	森鷗外「鷗外全集」史伝部第7巻	15:186, 189~190	〃 : 〃
12. 8. 不	西周伝	15:186, 189~190	〃 : 〃
12. 8. 不	森鷗外「鷗外全集」史伝部第7巻 濶江抽斎	15:186, 191~199	〃 : 〃
12. 8. 4	森春濤「春濤詩鈔」 <sup>12)</sup> 「東京才人絶句」 <sup>13)</sup>	19:285	断腸亭日記巻之七
12. 8. 20	梁川星巖「星巖集」 <sup>14)</sup>	19:286	〃
12. 9. 不	井上啞々「猿論語」「小説道」「夜の女界」	27:118	雑草園其四:井上啞々君のごごと

(大正)	読書作品(著者・著作名)	巻:頁	荷風全集目次タイトル
12. 9. 20	小野湖山「火後憶得詩」「湖山楼詩鈔」 <sup>15)</sup>	19:291	断腸亭日記卷之七
12. 9. 19	「詩鈔」	19:291	〃
12. 9. 6	小原鉄臣「亦奇録」	19:289	〃
12. 9. 不	活文壇 <sup>16)</sup>	27:115	雑草園其四:井上啞々君のこと
12. 9. 23	菅茶山「筆のすさみ」	19:291	断腸亭日記卷之七
12. 9. 不	鈴木藤吉郎	15:205,216	麻布襪記:隠居のごごと
12. 9. 不	中央公論	27:119	雑草園其四:偏奇館劇話
12. 9. 不	森鷗外「興津彌五右衛門の遺書」 <sup>17)</sup>	15:200~1	麻布記襪:隠居のごごと
12. 9. 不	〃 「澀江抽斎」 <sup>18)</sup> 「半日」	15:200	〃 : 〃
12. 9. 不	〃 「キタセクスアリス」「青年」「雁」	15:200	〃 : 〃
12. 9. 不	〃 「阿部一族」 <sup>19)</sup>	15:201,204	〃 : 〃
		207,210,211,213,216	
12. 9. 不	〃 「伊沢蘭軒」「小島宝素」	15:203	〃 : 〃
12. 9. 不	〃 「北条霞亭」	15:203~4	〃 : 〃
12. 9. 不	〃 「梶原品」 <sup>20)</sup>	15:204	〃 : 〃
12. 9. 不	〃 「大塩平八郎」 <sup>21)</sup>	15:204,213	〃 : 〃
12. 9. 不	〃 「栗山大膳」 <sup>22)</sup>	15:204,214~5	〃 : 〃
12. 9. 不	〃 「護持院ヶ原の敵討」 <sup>23)</sup> 「高瀬舟」 <sup>24)</sup>	15:207	〃 : 〃
	「ぢいさんばあさん」 <sup>25)</sup>		
12. 9. 不	〃 「佐橋甚五郎」 <sup>26)</sup>	15:207,214	〃 : 〃
12. 9. 不	〃 「寿阿彌の手紙」 <sup>27)</sup>	15:204,210,	〃 : 〃
		210~220	
12. 9. 不	〃 「堺事件」 <sup>28)</sup>	15:211	〃 : 〃
12. 9. 不	〃 「細木香以」 <sup>29)</sup>	15:203~4	〃 : 〃
		206,216,220	
12. 9. 30	柳里恭「雲萍漫筆」	19:293	断腸亭日記卷之七
12. 9. 23	ジャルー, エドモンの小説「In- certaine」	19:292	〃
12. 10. 不	井上啞々「猿論語」「洒行脚」裏店列伝」 「鳥牙庵漫筆」	15:67	麻布襪記:梅雨晴
12. 10. 不	王荊公の文	15:62	〃 : 〃
12. 10. 7	斎藤拙堂「拙堂文話」 <sup>30)</sup>	19:295	断腸亭日記登之七
12. 10. 不	[資治]通鑑綱目	15:61,63	麻布襪記:梅雨晴
12. 10. 不	[資治]通鑑肇要	15:62	〃 : 〃
12. 10. 不	史語評林	15:63	〃 : 〃
12. 10. 不	島田翰「古文舊書考」	15:63	〃 : 〃
12. 10. 不	謝枋得選「文章軌範」 <sup>31)</sup>	15:62	〃 : 〃
12. 10. 不	樊川の詩	15:67	〃 : 〃
12. 10. 不	藤塚東郷, 菅原陳之「名所図会」	15:63	〃 : 〃
12. 10. 不	堀口大学「TANKA」 <sup>32),33)</sup>	26:467	雑草園其三:堀口大学著青春の焰

(大正)	読書作品(著者・著作品)	巻:頁	荷風全集目次タイトル
			の叙
12. 10. 不	レニエー, アンリド作, 堀口大学訳「青春の焰」	26:467	雑草園其三:堀口大学著青春の焰
			の叙
12. 10. 不	森鷗外「濶江抽斎」	15:59	麻布襦記:梅雨晴
12. 10. 不	頼山陽「外史政記」	15:63	// : //
12. 10. 不	群書類従	15:63	// : //
12. 10. 不	清初詩家の随筆書牘	15:62	// : //
12. 12. 12	寺門静軒「癡談」	19:303	断腸亭日記巻之六
12. 12. 27	東江源鱗「干字文」	19:304	//
12. 12. 31	福地桜痴先生「懐往事談」	19:304~5	//
12. 12. 15	松浦北海「北蝦夷餘誌」 <sup>34)</sup>	19:303	//
12. 12. 19	三島撰門「三縁山志」	19:303	//
12. 12. 10	梁川星巖「星巖集」 <sup>35)</sup>	19:302	断腸亭日記巻之七
13. 不	歌舞伎新報	28:543	参考篇:漫言冗語(-)
13. 不	諸芸新聞	28:543	// : //
13. 不	白縫譚 <sup>36)</sup>	28:545	// : 幽窗清話
13. 不	随筆索引	28:543	// : 漫語冗語(-)
13. 不	為永春水「いろは文庫」	28:545	// : 幽窗清話
13. 不	百花園	28:543	// // 漫言冗語(-)
13. 不	風俗画報	28:543	// : //
13. 1. 6	青木可笑「江戸外史」	19:308	断腸亭日記巻之八
13. 1. 不	尾崎紅葉の諸作	15:73	麻布襦記:十日の菊
13. 1. 2	菊地五山「五山堂詩話」	19:307	断腸亭日記巻之八
13. 1. 不	国木田独歩 <sup>37)</sup>	15:73	麻布雑記:十日の菊
13. 1. 不	斎藤拙堂の文話	15:223	麻布襦記:隠居のごごと
13. 1. 不	斎藤緑雨「の文」	15:73	麻布襦記:十日の菊
13. 1. 29	阪田諸遠「展墓録野霧の夕露」十三冊	19:309	断腸亭日記巻之八
13. 1. 不	式亭三馬	15:73	麻布襦記:十日の菊
13. 1. 不	為永春水「梅見の船」	15:79	// : //
13. 1. 11	探墓会編「墓碣餘志」 <sup>38)</sup>	19:308	断腸亭日記巻之八
13. 1. 不	樋口一葉「たけくらべ」	15:73	麻布襦記:十日の菊
13. 1. 不	三田文学	15:77	// : //
13. 1. 不	森鷗外「干朶山房」 <sup>39)</sup>	15:81	// : //
13. 1. 不	梁川星巖	15:223	// : 隠居のごごと
13. 1. 不	頼山陽	15:23	// : //
13. 1. 不	柳亭種彦「田舎源氏」	15:79	// : 十日の菊
13. 2. 不	稲毛屋山撰「采風集」	15:273	下谷叢話 第一
13. 2. 不	岩溪裳川「詩遣感恩珠」	15:293	// 第四
13. 2. 3	大窪詩佛「詩聖堂集」	19:310	断腸亭日記巻之八
13. 2. 不	// 「 // 」	15:289	下谷叢話 第三

(大正)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
13. 2. 不	大田南畝「随筆一話一言」	15：281	下谷叢話 第三
13. 2. 不	大沼枕山「安政文雅人名録」	15：294	〃 第四
13. 2. 不	〃 「沈山集」	15：282	〃 第三
13. 2. 不	〃 編「竹溪遺藁」二卷	15：276, 280	〃 第二
13. 2. 不	菊池桐孫選「五山堂詩」九	15：273	〃 第一
13. 2. 不	好古雑誌〔巻号不明〕 <sup>40)</sup>	15：286	〃 第三
13. 2. 不	佐藤一斎「六閑堂記」	15：286	〃 〃
13. 2. 不	〔広益諸家〕人名録 <sup>41)</sup>	15：294	〃 第四
13. 2. 14	鈴木桃野「復古の裏書」 <sup>42)</sup>	19：311～2	断腸亭日記巻之八
13. 2. 9	中香亭「香亭遺文」	19：311	〃
13. 2. 不	西島伸斎「慎夏漫筆」	15：288	下谷叢話 第三
13. 2. 不	林述斎「谷口樵唱」	15：286	〃 〃
13. 2. 10	武鑑	19：311	断腸亭日記巻之八
13. 2. 不	森鷗外「伊沢蘭軒」	15：281	下谷叢話 第三
13. 2. 不	森魯直「春濤詩鈔」	15：292	〃 第四
13. 2. 不	鷲津幽林「幽林先生遺藁」 <sup>43)</sup>	15：271	〃 第一
13. 3. 9	猪飼敬所先生「手柬集」	19：314	断腸亭日記巻之八
13. 3. 不	大窪詩佛「詩聖堂集」	15：304	下谷叢話 第六
13. 3. 不	大沼枕山「江戸名勝詩」	15：319	〃 第十
13. 3. 不	〃 「枕山詠物詩」	15：311	〃 第九
13. 3. 不	〃 「枕山詩鈔」	15：301	〃 第五
		308, 311, 314	
13. 3. 不	〃 「枕山絶句鈔」	15：315	〃 第九
		317, 319	
13. 3. 不	〃 「枕山同人集」	15：307	〃 第六
13. 3. 不	〃 「房山集」	15：305	〃 〃
		～6, 318	
13. 3. 不	門田堯佐編「天保卅六家絶句」	15：308	〃 第七
13. 3. 22	金森慎徳「温古新聞記」 <sup>44)</sup>	19：316	断腸亭日記巻之八
13. 3. 不	蒲生髮亭「近世偉人伝」義集第三編	15：315	下谷叢話 第九
13. 3. 不	菊池五山「五山堂詩話補遺」五	15：301, 8	〃 第五
13. 3. 3	幸田露伴「譚言」	19：314	断腸亭日記巻之八
13. 3. 不	斎藤拙堂文集	15：301	下谷叢話 第五
13. 3. 不	斎藤夏之助「安房志」	15：309	〃 第七
13. 3. 不	佐藤牧山「木曾紀行」	15：302	〃 第五
13. 3. 不	〃 「老子講義」6巻	15：303	〃 〃
13. 3. 14	塩谷宕陰「宕陰存藁」	19：315	断腸亭日記巻之八
13. 3. 不	土徳楓江「土徳楓江集」	15：301	下谷叢話 第五
13. 3. 不	竹内雲濤	15：312	〃 第九
13. 3. 不	坪内逍遙「〔当世〕書生氣質」	25：242	書簡集

(大正)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
13. 3. 不	遠山雲如「墨水四時雜詠」	15：307	下谷叢話 第六
13. 3. 不	成嶋柳北「硯北日録」	15：307	〃 〃
13. 3. 12	南園上人「日記隨筆」 <sup>45)</sup>	19：315	断腸亭日記卷之八
13. 3. 不	西島大車のつくった墓誌 <sup>46)</sup>	15：312	下谷叢話 第九
13. 3. 不	梅癡「梅癡詠物詩」 <sup>47)</sup>	15：316	〃 第九
13. 3. 不	〃 「結城山寺雜題」	15：320	〃 第十
13. 3. 不	畑銀雞「江戸文人寿命附」	15：301	〃 第五
13. 3. 不	〃 「 〃 〃 」	15：308	〃 第七
13. 3. 29	服部南郭「南郭文集」	19：316	断腸亭日記卷之八
13. 3. 4	羽倉簡堂「西上録」	19：314	〃
13. 3. 不	舟橋晴潭	15：306	下谷叢話 第六
13. 3. 不	「文雅人名録」(明治十四年)	15：319	〃 第十
13. 3. 不	三島撰門「三縁山志」	15：316	〃 第九
13. 3. 不	宮沢竹堂	15：301	〃 第五
13. 3. 不	森春濤「森春濤詩鈔」	15：302	〃 〃
13. 3. 不	森玉岡「兩総吟囊」	15：310	〃 第八
13. 3. 不	梁川星巖「星巖集」	15：300	〃 第五
13. 3. 不	〃 「 〃 〃 」	15：308	〃 第七
13. 3. 不	〃 「 〃 〃 」	15：313	〃 第九
13. 3. 29	横井也有「鶉衣」	19：316	断腸亭日記卷之八
13. 3. 不	横山湖山「詩屏風」	15：312	下谷叢話 第九
13. 3. 不	鷺津益斎「詩藁一卷」	15：321	〃 第十一
13. 3. 不	ジッド, アンドレ「Palde」	25：241	書簡集
13. 4. 不	安政文雅人名録	15：334	下谷叢話 第十五
13. 4. 16	大田南畝「一話一言」	19：318	断腸亭日記卷之八
13. 4. 21	〃 「孝義録」	19：319	〃
13. 4. 不	大沼枕山「枕山詠物語」	15：330	下谷叢話 第十四
13. 4. 不	〃 「枕山詩鈔」	15：326, 333	〃 第十三
13. 4. 不	〃 「墨川行」	15：327	〃 第十四
13. 4. 不	〃 「松塘詩鈔」 <sup>48)</sup>	15：326	〃 第十三
13. 4. 不	小野湖山「湖山楼詩藁」	15：330	〃 第十四
13. 4. 不	蒲生襲亭「近世偉人伝」	15：329, 331	〃 〃
13. 4. 不	佐藤一斎「愛日楼文」	15：332	〃 第十五
13. 4. 3	佐藤六石「春濤先生逸事談」	19：317	断腸亭日記卷之八
13. 4. 不	塩田随斎撰「房山集」	15：328	下谷叢話 第十四
13. 4. 不	寺門静軒「癡談」「静軒一家言」	15：336	〃 第十五
13. 4. 不	〃 「江戸繁昌記」 <sup>49)</sup> 「江戸百味」	15：335	〃 〃
	「楨肩瓦」「新斥繁昌記」		
13. 4. 14	寺門静軒「詩鈔」	19：318	断腸亭日記卷之八
13. 4. 10	田村成義「続々歌舞伎年代記」	19：317	〃

(大正)	読書作品(著者・著作名)	巻:頁	荷風全集目次タイトル
13. 4. 25	名古屋市史	19:320	断腸亭日記巻之八
13. 4. 11	南園「詩集書牘各一卷」	19:318	〃
13. 4. 不	日本教育史資料 <sup>50)</sup>	15:327	下谷叢話 第十四
13. 4. 不	丹羽花南「毅堂集」	15:332	〃 第十五
13. 4. 不	梅癡(集)	15:325	〃 第十三
13. 4. 不	梅癡「梅癡詠物詩」	15:330	〃 第十四
13. 4. 7	「武鑑二三部」	19:317	断腸亭日記巻之八
13. 4. 不	町田柳塘の著書 <sup>51)</sup>	15:329	下谷叢話
13. 4. 不	[梁川]「星巖集」	15:328	〃 第十四
13. 4. 不	頼山陽「日本外史」	15:332	〃 第十五
13. 4. 不	鷲津毅堂「毅堂丙集五巻」	15:334	〃 〃
13. 4. 不	〃 「親燈餘影」	15:331,334	〃 〃
13. 4. 不	〃 「薄遊吟草一卷」	15:334	〃 〃
13. 4/5	伊原青々園 <sup>52)</sup>	16:103	金阜山人戯文集:桑中喜語
13. 4/5	有喜世新聞	16:104	〃 : 〃
13. 4/5	大久保常吉「全盛北里花魁列伝」	16:103	〃 : 〃
13. 4/5	小栗風葉 <sup>53)</sup>	16:98	〃 : 〃
13. 4/5	川尻清潭,岡村柿紅共編「東都の名妓」	16:104	〃 : 〃
13. 4/5	桑野鋭戯「龍山北誌二巻」	16:103	〃 : 〃
13. 4/5	幸田露伴	16:100	〃 : 〃
13. 4/5	後藤宙外「松葉かんざし」	16:98	〃 : 〃
13. 4/5	槎盆子「銀街小誌初編」	16:103	〃 : 〃
13. 4/5	春亭史彦 <small>さとのはなさかるむらさき</small> 「北廓花盛 紫」	16:104	〃 : 〃
13. 4/5	東京芸妓評判録	16:104	〃 : 〃
13. 4/5	東京流行細見記	16:103	〃 : 〃
13. 4/5	松本重清画,酔月亭選「柳港絃妓全盛揃」	16:102	〃 : 〃
13. 4/5	粹多道人「芸娼妓評判記」「東京妓情」	16:102~3	〃 : 〃
	「花柳事情」		
13. 4/5	淡海子作「操草紙」	16:85	〃 : 〃
13. 4/5	娼妓てこ鶴の演説「太平楽娼妓演説」	16:104	〃 : 〃
	烏有山人筆記		
13. 4/5	角海老楼金龍句,稻本楼八雲詩松の家鶴	16:104	〃 : 〃
	八句「よし原一卷」		
13. 4/5	中村吳園「新橋芸者評判記」	16:102	〃 : 〃
13. 4/5	成嶋柳北「柳橋新誌」	16:102	〃 : 〃
13. 4/5	野崎城雄「東京粹書」	16:102	〃 : 〃
13. 4/5	服部誠一「東京新繁昌記」	16:102	〃 : 〃
13. 4/5	花笠文京「通人必携」	16:103	〃 : 〃
13. 4/5	原田真一「東京遊覧記」	16:103	〃 : 〃
13. 4/5	樋口一葉「にごりえ」	16:97	〃 : 〃



(大正)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
13. 4/5	広津柳浪「今戸心中」 <sup>54)</sup>	16：104	金阜山人戯文集：桑中喜語
13. 4/5	古河黙阿弥「鵜飼の篝火」	16：85	〃：〃
13. 4/5	正宗白鳥 <sup>55)</sup>	16：98	〃：〃
13. 4/5	松本萬年「新橋雑記」	16：102	〃：〃
13. 4/5	三木愛花原作戯蝶子補綴「娼妓節用」 「新橋八景芸者節用」「仙洞美人禪」 「東都仙洞綺語」「東京仙洞餘譚」	16：103	〃：〃
13. 4/5	「柳樽」	16：85	〃：〃
13. 4/5	「柳橋芸者名寄」	16：103	〃：〃
13. 4/5	山田春塘「日本橋浮名歌妓」	16：103	〃：〃
13. 4/5	流行道人「当時全盛絃妓細見記」	16：103	〃：〃
13. 5. 不	安積良齊「紀行」	19：321	断腸亭日記巻之八
13. 5. 不	植村蘆州・真下晩松編「六名家詩選」	15：354	下谷叢話 第二十
13. 5. 18	大谷木純堂の隨筆	19：322	断腸亭日記巻之八
13. 5. 不	大沼枕山「江戸名勝詩」 <sup>56)</sup> 「下谷吟社詩」 <sup>57)</sup>	15：347	下谷叢話 第十八
13. 5. 不	「枕山詠物詩」	15：339	〃 第十六
13. 5. 不	大沼枕山「枕山詩鈔」「枕山絶句鈔」	15：342	〃
		348, 358	
13. 5. 不	「嘉永二十五家絶句」 <sup>58)</sup>	15：341	〃 第十七
13. 5. 不	「嘉永明治年間録」	15：366	〃 第二十二
13. 5. 不	金森慎徳「温古新聞記」	15：351	〃 第十九
13. 5. 不	佐久間象山の詩集	15：363	〃 第二十二
13. 5. 20	佐藤一斎「愛日楼文」	19：323	断腸亭日記巻之八
13. 5. 不	佐藤六石「春濤先生逸事談」	15：343	下谷叢話 第十八
13. 5. 不	〃 「 〃 」	15：355, 356	〃
13. 5. 不	事実文編第76巻「嶺田翁壽碑銘」	15：353	〃 第十九
13. 5. 不	鈴木松塘「松塘詩鈔」「房山楼集」	15：337	〃 第十九
		351, 354	第二十
13. 5. 不	高田與清「相馬日記」	15：340	〃 第十七
13. 5. 不	梅癡「梅癡詠物詩」	15：339	〃 第十六
13. 5. 不	長谷川昆溪編「名家詩録二巻」	15：341	〃 第十七
		344	第十八
13. 5. 9	服部南郭「南郭文集」	19：322	断腸亭日記巻之八
13. 5. 不	羽倉簡堂「簡堂叢書五巻」「小四海堂叢書」 <sup>59)</sup>	15：365	下谷叢話 第二十二
13. 5. 不	林天然「房総の偉人」	15：353	〃 第十九
13. 5. 不	「武江年表」	15：360	〃 第二十一
13. 5. 不	藤森弘庵「海防備論二巻」「芻言」	15：366	〃 第二十二
13. 5. 不	「文雅都鄙人名録」 <sup>60)</sup>	15：347	〃 第十八
13. 5. 不	増田存(枕山門下生)「飯沼詩鈔一卷」	15：340	〃 〃

(大正)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
13. 5. 不	溝口桂巖編「〔大沼枕山〕同人集」	15：348	下谷叢話 第十九
13. 5. 不	「名家詩録」	15：340	〃 〃
13. 5. 不	「明治詩文」	15：340	〃 〃
13. 5. 不	「名譽新誌」第17号以下 <sup>61)</sup>	15：359	〃 第二十一
13. 5. 不	安井息軒「北潜日抄」	15：363	〃 〃
13. 5. 不	山崎美成「江都名家詩選」	15：356	〃 第二十
13. 5. 不	横山湖山「湖山楼詩屏風二卷」	15：338～363	〃 第十七, 十八, 二十一
13. 5. 不	横山湖山(刊刻)「乍浦集詠鈔一卷」	15：348	〃 〃
13. 5. 不	「幽林先生行状」	25：243	〃 〃
13. 5. 不	「良斎文畧」	19：322	断腸亭日記卷之八
13. 5. 不	嶺田士徳(楓江)「海外新話」	15：352, 353	下谷叢話 第十九
13. 5. 不	鷺津毅堂「火後憶得詩」「告詩篇」 「聖武記採要三卷」「薄遊吟草」 <sup>62)</sup>	15：346, 348 350, 353, 360, 365	〃 第十八, 十九, 二十, 二十一
13. 5. 2	エックウ, デョルジュ「ケルメス」 <sup>63)</sup>	19：321	断腸亭日記卷之八
13. 6. 不	「安政三十二家絶句三卷」 <sup>64)</sup>	15：378	下谷叢話 第二十六
13. 6. 6	安藤東野「東野遺稿」	19：324	断腸亭日記卷之八
13. 6. 不	植村蘆州, 真下晚菘編「六名家詩鈔」	15：392 373	下谷叢話 第二十九 第二十四
13. 6. 13	大田錦城「錦城文録」	19：325	断腸亭日記卷之八
13. 6. 18	大谷木醇堂の筆乗	19：325	〃 〃
13. 6. 不	大枕磐溪「大槻磐溪詩鈔」	15：382	下谷叢話 第二十七
13. 6. 不	大沼枕山「元旦口號」「枕山詩鈔」 「枕山同人集第三編」	15：386～391	〃 第二十八 第二十九
13. 6. 不	「嘉永明治年間録」	15：389	〃 第二十八
13. 6. 不	「花月新誌」 <sup>65)</sup>	15：389	〃 〃
13. 6. 不	勝海舟「開国起源」	15：389	〃 〃
13. 6. 不	蒲生襲亭「近世偉人伝」	15：371	〃 第二十二
13. 6. 不	〃 「 〃 」	15：390	〃 第二十八
13. 6. 不	坂田篁蔭「野辺の夕霧」	15：388	〃 〃
13. 6. 不	坂本三郎「晚菘餘影」 <sup>66)</sup>	15：392	〃 第二十九
13. 6. 不	佐藤六石「春壽先生逸事談」	15：380	〃 第二十六
13. 6. 不	写本安政六年川柳日記	15：389	〃 第二十八
13. 6. 不	鈴木松塘「房山楼詩藁」	15：382	〃 第二十七
13. 6. 不	内藤恥叟「開国起源安政紀事」	15：384	〃 〃
13. 6. 不	成嶋確堂「硯北日録」己未の巻	15：386	〃 〃
13. 6. 不	〃 「 〃 」巻の7	15：391, 392	〃 第二十九
13. 6. 不	〃 「柳橋新誌」	15：386	〃 第二十八
13. 6. 不	〃 「 〃 」第1編	15：390	〃 第二十九
13. 6. 不	原念斎「先哲叢談」	15：391	〃 〃
13. 6. 不	藤森弘庵「近世名家詩鈔」	15：384	〃 第二十七

(大正)	読書作品(著者・著作名)	巻:頁	荷風全集目次タイトル
13. 6. 2	松崎慊堂「慊堂遺文」	19:324	断腸亭日記巻之八
13. 6. 29	松村操「近世先哲叢談」	19:326	断腸亭日記巻之八
13. 6. 不	水戸藩史料	15:389	下谷叢話 第二十八
13. 6. 23	靱山庭後「遅日鶯」	19:325	断腸亭日記巻之八
13. 6. 不	横山湖山「火後憶得詩」	15:378	下谷叢話 第二十六
13. 6. 不	〃 「 〃 」	15:385	〃 第二十七
13. 6. 不	依田学海述「野辺の夕霧」	15:382	〃 〃
13. 6. 不	鷺津毅堂「毅堂丙集」巻三十五	15:371	〃 第二十三
13. 7. 不	大窪詩佛「詩聖堂詩集」巻10	16:10~11	荷風文藁:磯川徇伴記
13. 7. 不	大沼枕山「枕山詩鈔」	15:393	下谷叢話 第三十, 三十一, 415 三十二, 三十五
13. 7. 不	大沼枕山「枕山の詩賦」 <sup>67)</sup>	15:409	〃 第三十四
13. 7. 不	〃 「枕山先生遺藁」	15:408	〃 第三十二
13. 7. 不	小原鐵心「亦奇録」	15:414	〃 第三十五
13. 7. 不	「慶応十家絶句」	15:408	〃 第三十三
13. 7. 不	五弓久文編「事実文編」	15:400,407	〃 第三十二
13. 7. 11/12	春臺「湘中紀行」「紫芝園藁」	19:327	断腸亭日記巻之八
13. 7. 不	武田醉霞「墓所集覧」	15:400	下谷叢話 第三十一
13. 7. 不	遠山雲如「雲如先生遺藁」	15:402,403	〃 第三十二
13. 7. 不	〃 「雲如山人集」 <sup>68)</sup> 「晃山遊草」 一卷「墨水四時雜詠」一卷 <sup>69)</sup>	15:403	〃 〃
13. 7. 不	遠山雲如「湘雲詩鈔」四巻「寰内奇詠」 「嶋雲漁鈔」一卷	15:402	〃 〃
13. 7. 不	遠山雲如「下谷吟社詩」	15:407	〃 〃
13. 7. 不	中根香亭「零碎雜筆」	15:404	〃 〃
13. 7. 不	中山文節「南木志」五巻 <sup>70)</sup>	15:407	〃 〃
13. 7. 不	成嶋柳北「柳北全集」 <sup>71)</sup>	15:406	〃 〃
13. 7. 不	「日本教育史資料」	15:411,414	〃 第三十五
13. 7. 不	「武鑑」	15:407	〃 〃
13. 7. 不	「廣益諸家人名録」	15:396	〃 第三十一
13. 7. 不	「文久二十六家絶句」三巻	15:397	〃 〃
13. 7. 不	「平安名家墓所一覽」	15:402	〃 第三十二
13. 7. 不	森鷗外「能久親王事蹟」	15:402	〃 〃
13. 7. 不	森春壽「新々文詩」第四集	15:404	〃 〃
13. 7. 不	横山湖山「火後憶得詩」	15:412	〃 第三十五
13. 7. 不	六樹園飯盛「狂文吾孀なまり」	16:11	荷風文藁:磯川徇伴記
13. 7. 不	鷺津毅堂「毅堂丙集」巻の四	15:411	下谷叢話 第三十五
13. 7. 不	〃 「親燈餘影」 <sup>72)</sup>	15:395	〃 〃
13. 8. 19	「栗山文集」	19:330	断腸亭日記巻之八
13. 8. 18	「写本嘶家系譜」	19:330	〃

(大正)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
13. 8. 24	宮沢雉編「今四家絶句」	19：331	断腸亭日記巻之八
13. 8. 25/26	森鷗外「鷗外全集第9巻」中「北條霞亭の伝」	19：331	〃
13. 9. 13	伊藤仁斎「古学先生文集」	19：334	〃
13. 9. 27	服部南郭「南郭文集」	19：338	〃
13. 9. 24	エミルフェゲエ「En Lisant les beaux vieux livres」	19：337	〃
13. 10. 2	大田蜀山人「井頭源に遊ぶの記」	19：338	〃
13. 10.11	寺崎士監「梅坡詩鈔」	19：339	〃
13. 10.29	林羅山「羅山文集」	19：341	〃
13. 10. 6	李笠翁「閒情偶寄」	19：339	〃
13. 11. 2	亀田鵬斎「鵬斎先生詩鈔」	19：341	〃
13. 11. 1	戸川秋骨「戸山ヶ原に遊ぶの記」	19：341	〃
13. 11.19	「宝曆武鑑」	19：341	〃
13. 11. 5	水上瀧太郎「小説勤人」	19：342	〃
13. 11.10	柳湾「柳湾漁唱」	19：343	〃
13. 11.不	レニエー， アンリイ・ド「墨池の記」 「水市断章」	16：15	荷風文藁：几辺の記
13. 12. 9	田能村竹田「山中人饒舌」	19：347	断腸亭日記巻之八
14. 3. 25	斎藤幸成「東都歳事記」	19：362	〃 巻之九
14. 5. 8	柏木如亭「詩本草」 <sup>73)</sup>	19：365	〃 〃
14. 6. 2	近松茂矩「茶窓問話」	19：370	〃 〃
14. 8. 8	鷗陽修「秋聲賦」	19：377	〃 〃
14. 8. 19	斎藤拙堂「拙堂文話第一巻」	19：378	〃 〃
14. 8. 17	山村良由「清音楼集」	19：378	〃 〃
14. 12.15	「金詩選」	19：413	〃 〃
14. 12.19	立川焉馬「歌舞伎年代記」	19：415	〃 〃
15. 1. 10	松筵子頃者平秩東作自筆本「蝦夷紀行」	20：11	〃 巻之十
15. 3. 不	青木可笑「江戸外史」五巻「皇漢金石文字一覧」一卷	15：419	下谷叢話 第三十七
15. 3. 不	岩溪堂川「詩話感恩珠」	15：448	〃 〃
15. 3. 不	内田均「慶応十家絶句」	15：420	〃 〃
15. 3. 不	大沼枕山「除夜放歌」	15：422	〃 〃
15. 3. 不	岡千仞「観光遊記」「尊攘紀事」「涉史偶筆」「北遊詩草」	15：431	〃 〃
15. 3. 不	「官員録」明治14年	15：438	〃 第四十
15. 3. 不	「新文詩」といふ雑誌	15：439	〃 〃
15. 3. 不	「東京地主案内」 <sup>74)</sup>	15：438	〃 〃
15. 3. 不	「東京地理沿革史」	15：438	〃 〃
15. 3. 不	遠山雲如「下谷吟社詩」三巻 <sup>75)</sup>	15：440	〃 〃

(大正)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
15. 3. 不	中根香亭「香亭遺文」「天王寺大懺悔」 <sup>76)</sup>	15：445, 447	下谷叢話 第四十
15. 3. 不	「名古屋市史」	15：418	〃 第三十七
15. 3. 不	「七曲吟社絶句」初編二巻 <sup>77)</sup>	15：440	〃 〃
15. 3. 不	西田春耕「嗜口小史」 <sup>78)</sup>	15：443	〃 〃
15. 3. 不	松浦武一郎「林氏雜纂」	15：436	〃 第三十九
15. 3. 不	三島中州「中州文彙」	15：445	〃 〃
15. 3. 28	夢中山人「辰巳園角雞卵」	20：27	断腸亭日記巻之十
15. 3. 不	「明治史要」	15：421, 423	下谷叢話 第三十七
15. 3. 不	「明治碑文集」	15：445	〃 第四十
15. 3. 不	森春濤「東京才人絶句」二巻 <sup>79)</sup>	15：440	〃 〃
15. 3. 不	鷺津毅堂「毅堂丙集」	15：423, 435	〃 第三十八
15. 3. 不	〃 「親燈餘影」「赴任日録」「雅約」「聴水篠襟吟」	15：425~444	〃 第三十八, 四十
15. 4. 7	「吉原かゞみ」 <sup>80)</sup>	20：29	断腸亭日記巻之十
15. 4. 22	「陸放翁詩鈔」	20：34	〃
15. 5. 1	大窪詩佛「詩聖堂詩集」	20：36	〃
15. 6. 26	梅癡「梅癡上人詠物詩」	20：43	〃
15. 6. 18	良斎「楽其楽園記」	20：43	〃
15. 7. 23	市河寛斎「芥園瑣録」一卷	20：50	〃
15. 7. 23	市河寛斎「寛斎摘草」一卷「寛斎漫稿」二巻「金石題跋」一卷「瓊浦夢餘録」一卷「詩燼」一卷「寶月楼古鑑図譜」	20：50	〃
15. 7. 7	林述斎「蕪窓文草」	20：45	〃
15. 8. 1	長島寿阿彌「寿阿彌の尺牘」	20：52	〃
(昭和)			
2. 正月. 26	“菊塙の随筆”	20：111	断腸亭日記巻十一
2. 正月. 2	幸田露伴「紙鷲賦」	20：104	〃
2. 正月. 10	「宣和遺事」	20：107	〃
2. 正月. 25	“千葉芸閣の文集”	20：111	〃
2. 1. 1	成島柳北「硯北日録」	20：103	〃
2. 正月. 13	〃 「春聲樓日乗」	20：108	〃
2. 正月. 6	〃 「投閑日録」	20：105	〃
2. 正月. 6	〃 「日毎之塵」	20：105	〃
2. 正月. 9	〃 「柳橋新誌」	20：107	〃
2. 正月. 22	林述齋「蕉窓永言」	20：110	〃
2. 正月. 3	横井也有「蘿隠編」	20：104	〃
2. 2. 9	「詩経」	20：114	〃
2. 2. 13	成島柳北「明治三年庚午日乗」	20：115	〃
2. 2. 28	「兩巴唇言」 <sup>81)</sup>	20：117	〃
2. 3. 14	市河泰庵「無關門の鍵」	20：119	〃

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
2. 3. 15	“大窪天民の詩集”	20：119	断腸亭日記巻十一
2. 3. 27	“佐藤牧山の集”	20：121	〃
2. 3. 3	「事実文編」	20：117	〃
2. 3. 21	“信夫怨軒の文集”	20：120	〃
2. 3. 13	遠山雲如「墨水四時雜詠」	20：119	〃
2. 3. 18	成島柳北「瀬上日乗」	20：120	〃
2. 3. 26	法月俊郎「晁東仙郷志」	20：121	〃
2. 3. 20	日高浩「氷雨」	20：120	〃
2. 3. 15	「深川区史」	20：119	〃
2. 3. 30	三木愛花「東都仙洞綺語」	20：122	〃
2. 3. 15	“栗山の文集”	20：119	〃
2. 4. 不	江村北海「日本詩史」	16：274	荷風隨筆：成嶋柳北の日記
2. 4. 5	「花月新誌」	20：123	断腸亭日記巻十一
2. 4. 14	「西遊詩草」	20：126	〃
2. 4. 6	「雑誌苦楽」 <sup>82)</sup>	20：123	〃
2. 4. 不	佐藤一齋「愛日楼文」	16：280	荷風隨筆：成嶋柳北の日記
2. 4. 不	清水礫州「ありやなしや」	16：276	〃：〃
2. 4. 12	“東岳の某集”	20：126	断腸亭日記巻十一
2. 4. 12	〔成嶋〕錦江「芙蓉樓集」	20：126	〃
2. 4. 不	成嶋錦江「遊獵歌」	16：275	荷風隨筆：成嶋柳北の日記
2. 4. 不	成嶋柳北「熱海文藪」	16：270	〃：〃
2. 4. 不	〃 「明治新撰譜」	16：270	〃：〃
2. 4. 不	〃 「柳橋新誌」	16：270	〃：〃
2. 4. 不	〃 「柳北奇文」	16：270	〃：〃
2. 4. 不	原念齋「先哲叢談」	16：272	〃：〃
2. 4. 22	“靱山庭後子其亡妻梓雪女子の句集”	20：128	断腸亭日記巻十一
2. 4. 22	フアゲエ「佛蘭西十八世紀文学論」 <sup>83)</sup>	20：128	〃
2. 5. 不	「新撰東京名所図会」 <sup>84)</sup>	16：294	荷風隨筆：向嶋
2. 5. 不	寺門静軒「江戸繁昌記」	16：283	〃：柳橋新誌につきて
2. 5. 不	成嶋柳北「硯北日録」	16：284	〃：〃
2. 5. 不	〃 「柳橋新誌」	16：283	〃：〃
2. 5. 不	平出鏗二郎「東京風俗志」	16：294	〃：向嶋
2. 5. 31	松崎天民「銀座」 <sup>85)</sup>	20：133	断腸亭日記巻十一
2. 5. 不	曼翁「板橋雜記」	16：283	荷風隨筆：柳橋新誌につきて
2. 5. 7	箕作秋坪「小西湖佳話」	20：130	断腸亭日記巻十一
2. 5. 不	森鷗外「伊澤蘭軒」	16：290	荷風隨筆：柳橋新誌につきて
2. 5. 25	Juglar, Louis 「藝術様式論 Le style dans les arts」	20：132	断腸亭日記巻十一
2. 6. 不	〔大田〕蜀山人	16：301	荷風隨筆：向嶋
2. 6. 1	岡鬼太郎「薩摩歌」 <sup>86)</sup>	20：133	断腸亭日記巻十一

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
2. 6. 不	加藤善庵「墨水観花記」	16：298	荷風隨筆：向嶋
2. 6. 不	木村錦花「梅暦三幕」	20：136	断腸亭日記卷十一
2. 6. 不	幸田露伴「譚言長語」	16：295	荷風隨筆：向嶋
2. 6. 不	塩谷宕陰「遊墨水記」	16：298	〃：〃
2. 6. 不	「新撰東京名所図会」	16：298	〃：〃
2. 6. 23	〔為永〕春水「梅暦」	20：136	断腸亭日記卷十一
2. 6. 不	寺門静軒「江戸繁昌記」	16：298	荷風隨筆：向嶋
2. 6. 不	〃 「江頭百詠」	16：304	〃：〃
2. 6. 不	杜樊川	16：314	〃：百花園
2. 6. 不	遠山雲如「墨水四時雜詠」	16：305	〃：向嶋
2. 6. 8	「成島家先祖書」	20：133	断腸亭日記卷十一
2. 6. 不	〔成島〕柳北「花月新誌」	16：300	荷風隨筆：向嶋
2. 6. 不	林述斎「墨上漁謡」	16：300	〃：〃
2. 6. 24	「武鑑」	20：136	断腸亭日記卷十一
2. 6. 不	デュー, ワルク編「仏蘭西現代抒情詩選」	16：302	荷風隨筆：向嶋
2. 6. 不	“ミュッセが小曲”	16：329	〃：帝国劇場のオペラ
2. 6. 不	“O de lettres と題せられた小曲”	16：302	〃：向嶋
2. 7. 23	小野湖山「湖山人月誌」	20：141	断腸亭日記卷十一
2. 7. 不	〔河竹〕黙阿彌「梅暦辰巳園」	26：286	雑草園其三：拍子木物語其他：梅 暦について
2. 7. 不	看雨隠士「東京地理沿革誌」	16：316	荷風隨筆：上野
2. 7. 10	「享和雜記」	20：139	断腸亭日記卷十一
2. 7. 7	黒田湖山人の日記 <sup>88)</sup>	20：138	〃
2. 7. 11	〔信夫〕恕軒遺稿一帙	20：139	〃
2. 7. 不	「饒歌餘譚」と題した一冊の写本 <sup>89)</sup>	16：319	荷風隨筆：上野
2. 7. 不	為永春水「梅暦」	26：286	雑草園其三：拍子木物語其他：梅 暦について
2. 7. 不	中根淑「香亭雅談」	16：325	荷風隨筆：上野
2. 7. 不	〔服部〕南郭文集初編卷の四	16：326	〃：〃
2. 7. 不	服部撫松「東京新繁昌記」	16：322	〃：〃
2. 7. 不	春の家おぼろ〔坪内逍遙〕「当世書生氣 質」	16：322	〃：〃
2. 7. 30	萬庵禪師「江陵集」	20：143	断腸亭日記卷十一
2. 7. 不	箕作秋坪「小西湖佳話」	16：316	荷風隨筆：上野
2. 7. 不	〔森〕鷗外「キタセクスアリス」及び 「雁」	16：322	〃：〃
2. 7. 不	〔梁川〕星巖「不忍池十詠」	16：327	〃：〃
2. 8. 不	菊池五山が絶句	16：355	〃：にくまれぐち
2. 8. 8	「好古叢誌」	20：146	断腸亭日記卷十一
2. 8. 11	澤旭山「漫遊文章」	20：147	〃

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
2. 8. 16	野間五造「立法一元論」	20：151	断腸亭日記巻十一
2. 8. 22	〔森〕 鷗外全集の第五巻	20：153	〃
2. 8. 27	森鷗外「蘭軒傳」	20：155	〃
2. 9. 22	「改造」十月号(漱石翁に関する夏目未 亡人の談話)	20：158	〃
2. 9. 17	樺山石梁の詩文集	20：157	〃
2. 9. 26	〔森〕 鷗外全集第六巻所載の詠草	20：160	〃
2. 9. 19	ルネーボアセルプの小説 <sup>91)</sup>	20：158	〃
2. 10. 28	朱羅菅江の狂歌大体一卷	20：172	〃
2. 10. 不稿 <sup>92)</sup>	大窪詩佛の集	16：381	荷風隨筆：申譯
2. 10. 28	大田南畝「自筆本遊戯三昧」	20：172	断腸亭日記巻十一
2. 10. 20	樺山石梁「常毛紀行」	20：169	〃
2. 10. 28	唐衣橋州「自筆本金聲集」	20：172	〃
2. 10. 28	喜多武清の粉本	20：172	〃
2. 10. 22	「国民新聞」	20：171	〃
2. 10. 20	佐藤一齋の紀行	20：169	〃
2. 10. 21	澤田東江「來禽堂詩草」	20：170	〃
2. 10. 不稿 <sup>93)</sup>	山東京伝「傾城買四十八手」, 「傾城 鐙」	16：380	荷風隨筆：申譯
2. 10. 28	「寫山樓画譜」	20：172	断腸亭日記巻十一
2. 10. 不稿 <sup>92)</sup>	「騷人」と称する文学雑誌	16：381	荷風隨筆：申譯
2. 10. 不稿 <sup>92)</sup>	寺門静軒「江戸繁昌記」	16：380	〃 : 〃
2. 10. 不稿 <sup>92)</sup>	成島柳北「柳橋新誌」	16：380	〃 : 〃
2. 10. 不稿 <sup>92)</sup>	服部撫松「柳巷新史」	16：380	〃 : 〃
2. 10. 23	「本朝文鑑」	20：171	断腸亭日記巻十一
2. 10. 不稿 <sup>92)</sup>	松本萬年「新橋雜記」	16：380	荷風隨筆：申譯
2. 10. 不稿 <sup>92)</sup>	三木愛花	16：380	〃 : 〃
2. 10. 22	「萬朝報」	20：171	断腸亭日記巻十一
2. 10. 15	「和合神」	25：256	書簡集
2. 10. 不稿 <sup>92)</sup>	ウエルレーンの詩集	16：380	荷風隨筆：申譯
2. 10. 不稿 <sup>92)</sup>	ツルゲネフ	16：389	〃 : 〃
2. 10. 不稿 <sup>92)</sup>	フロオベル	16：389	〃 : 〃
2. 10. 不稿 <sup>92)</sup>	ミュッセ「ミミイパンソンの晴衣裳」 <sup>92)</sup>	16：380	〃 : 〃
2. 11. 不	「時事新報」の文芸欄	16：363	〃 : 新聞紙について
2. 11. 不	「新潮」	16：357	〃 : にくまれぐち
2. 11. 17	寺門静軒癡談	25：257	書簡集
2. 11. 20	細井平州「松島紀行」	20：189	断腸亭日記巻十一之下
2. 11. 20	〔松崎〕 謙堂「遊東陬録」	20：189	〃
2. 11. 不	森先生の短篇小説「あそび」	16：355	荷風隨筆：にくまれぐち
2. 11. 1	プルウスト「Les Plaisirs et les jours」	20：185	断腸亭日記巻十一之下



(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
2. 11. 18	マルセル, シュオブ「 <sup>カール ドゥブル</sup> 二重の心」	20：189	断腸亭日記卷十一之下
2. 12. 22	安積良齋「樂其樂園記(写本)」	20：199	〃
2. 12. 13	「七部集大鑑」	20：195	〃
2. 12. 不	「本朝文鑑」	16：371	荷風隨筆：譯詩について
2. 12. 不	松尾桃青「銀河の序」	16：371	〃：〃
2. 12. 不	アポリネール	16：367	〃：〃
2. 12. 不	ヴァレリイ	16：367	〃：〃
2. 12. 不	クローデル(ポール)「極東瞥見記」	16：370	〃：〃
2. 12. 不	ゾラ(エミル)	16：369	〃：〃
2. 12. 不	ヂット(アンドレー)「 <sup>とほそ</sup> せまき扉」 <sup>94)</sup>	16：368	〃：〃
2. 12. 不	ヂット「パリュード Paludes」	16：369	〃：〃
2. 12. 不	ドーデ	16：369	〃：〃
2. 12. 不	ボードレール	16：370	〃：〃
2. 12. 不	マラルメ	16：370	〃：〃
2. 12. 不	ミュッセ “少女リュシイを憶ふ歌”	16：372	〃：〃
2. 12. 不	モレアス(ジャン)「秋の日」と題した 散文	16：370	〃：〃
2. 12. 不	モレアス(ジャン) 散文集「小品及び回 顧録」	16：370	〃：〃
2. 12. 不	ユーゴー(ヴィクトル)	16：369	〃：〃
2. 12. 不	ロマン(ジュール)	16：367	〃：〃
2. 12. 不	Gide(André) 詩篇「Lespoésies d' André Walter」	16：368	〃：〃
2. 12. 不	Moréas(Jean) 文集「Esguisses et Souvenirs(小品及び回顧録)」	16：368	〃：〃
2. 12. 不	Musset(A. de)	16：368	〃：〃

## 注

- 1) 小説作法に関する本を読み漁りたい荷風であったが故に、この種の本への関心は深い。
- 2) レニエの小説作品の読み込みには常に注目したい。全盛期の作品に構築された世界の骨格は、レニエの影響が圧倒的である。
- 3) “戯曲 大正11年7月「三田文学」、大正12年3月帝劇にて上演”
- 4) “明治30年頃出版なり”
- 5) “天保の初に出でたる書なり”
- 6) クローデルのように、日本滞在体験のある詩人に、荷風は関心を抱いている。
- 7) “東京 金蘭社 半月刊 明22.5.10～ の講談社速記雑誌”
- 8) ミュッセの作品の中で、荷風のもっとも好むもののひとつがこれであろう。ミュッセの作品の受容は、大正期の特徴をはっきりと示している。
- 9) “1923, 二代目市川左団次の為の歌舞伎台本”
- 10) “文政5—天保11, 3編6巻”

- 11) “大正12.1刊”
- 12) 天保5—天明22, 20巻
- 13) 天明8
- 14) 天保12—安政3, 5集21巻
- 15) 2巻1冊, 嘉永年間版, 安政6版, 明治3版の3種あり。
- 16) 東京 大学館 月刊(明治32.11.5~34.6限廃刊)
- 17) “大正元年十月の中央公論に現れたり”
- 18) 大正5年5月18~6月24日 東京日日, 大阪毎日新聞所載
- 19) 大正2年1月中央公論所載
- 20) 大5.1.1~5.1.8東京日々, 大阪毎日新聞掲載
- 21) 「中央公論」大正3年1月所載
- 22) 大正3年9月「太陽」所載
- 23) 大正2年10月「ホトトギス」掲載
- 24) 大正5年1月「中央公論」掲載
- 25) 大正4年9月「新小説」掲載
- 26) 大正2年4月「中央公論」掲載
- 27) 大正5年5月18~同年6月24日東京日々, 大阪毎日新聞掲載
- 28) 大正3年2月「新小説」掲載
- 29) 大正6年9月19日~10月13日東京日々, 大阪毎日新聞掲載
- 30) 文政13, 天保7, 正統編各8巻8冊
- 31) “漢文教科書”
- 32) “仏語の詩集”
- 33) 堀口大学は、荷風の愛弟子と云ってよい。西欧への日本文学の紹介者としての一面も荷風のよく理解するところであった。
- 34) “「下谷のはなし」執筆のため”
- 35) 天保12—安政3, 計5集21巻
- 36) 柳下亭種彦の戯作, 河竹黙阿弥の脚色本のいずれか。
- 37) “当時文壇第一の悪文家”
- 38) “編者は大江丸舊竹といふ俳諧師なり。”
- 39) “其晩年明星に寄せられたもの”
- 40) 六間堂資約掲載
- 41) 天保8年
- 42) 随筆
- 43) 大沼竹溪, 松隠編
- 44) “天保より嘉永に至る江戸市中の見聞記なり”
- 45) “いづれも慶応以後晩年のものなり”
- 46) 竹内雲濤
- 47) 菊池五山撰
- 48) 鈴木彦之の評
- 49) 天保3年
- 50) その中で, 塩田随斎の伝
- 51) 星巖の伝
- 52) “都新聞に続物小説を執筆せし……”
- 53) “(明治)四十三四年頃にいたりて……小栗風葉は鶴巻町辺の酌婦の事を小説に書きしことあるやうに覚えしが今その名を憶ひ得ず”。

- 54) 師柳浪のこの傑作を読むために、一連のルポルタージュものにも目を通すのが荷風の読書の方法である。
- 55) “……〔明治〕四十三四年頃にいたりて、正宗白鳥浜町の私窩子を描き……しことあるやうに覚えしが今その名を憶ひ得ず”
- 56) 明治十一年十月出版
- 57) 明治八年十一月出版
- 58) 大阪の書肆が刊行
- 59) 明治十二年刊
- 60) 明治十五年
- 61) 月刊雑誌
- 62) “嘉永五年、町奉行所の訊問を避けんがため房州に走った時の消息”
- 63) 短篇集
- 64) 書肆擁萬堂刊
- 65) 明治16年?
- 66) 大正3年著
- 67) “脇坂安宅への奉和の詩”
- 68) 七絶の部および七律の部二巻 嘉永二年刊刻
- 69) 嘉永3年
- 70) 著者文節の子信敏が翌年元治甲子の冬に至って之を板刻した
- 71) 博文館発行
- 72) 「親燈餘影」は毅堂著述の甲集。乙集は嘉永より慶応に至る間の詩文を編集したもの（出版されなかったらしい）。丙集は慶応元年乙丑より明治十年丁丑まで十二年間の詩文を編成したもの。
- 73) 柏木如亭の生き方も荷風が関心を抱いたところである。
- 74) 明治11年6月刊行
- 75) 明治8年9月
- 76) 明治19年10月、金港堂より刊行
- 77) 松塘の社中から明治12年己卯の秋
- 78) 明治20年
- 79) 明治8年9月
- 80) 萬治年間の槩本
- 81) “享保北里の細見”
- 82) 大阪、プラトン社、月刊。
- 83) 理性の世紀である18世紀は、あるいみで、荷風の追慕して止まない世紀であった。
- 84) “風俗画報社、明治31年”
- 85) パリのシャンゼリゼに面したカフェに座ると同様、銀座の通行人を詳しく観察することは、世相風俗を知る最良の方法であると、荷風は思っていた。
- 86) 荷風自身の手になる戯曲は、このような新歌舞伎流の主知的な雰囲気の色濃い。戯曲に関しては、荷風はこうした限界を破ろうという冒険はあまり試みていない。
- 87) 昭和2年6月稿
- 88) “明治28年・明治29年・甲州より関西に遊びし時の日録”
- 89) “作者は苔城松城雁戯稿となせるのみで、何人なるやを詳にしない”
- 90) 昭和2年7月稿
- 91) ルネ・ホワレーヴ (René Boylesve) のことか。全集ではルネーボアセルブと記されている。
- 92) 昭和8年4月発表
- 93) フランス文学の、他のラテン諸国の文学にその例をみない特色のひとつは、冷徹した観察眼によるルポルタージュである。観察を重んじる荷風は、ミュッセのこうした、日本人にとっては意外な一面に、強く惹

かれています。

- 94) 荷風はアンドレ・ジッドに影響されたが、それは主として小説の手法であった。小説において偉大な足跡を残した英仏二国を考える場合、後者はその方法において長じていた。荷風がそれをよく承知していたことに思いをいたさねばならない